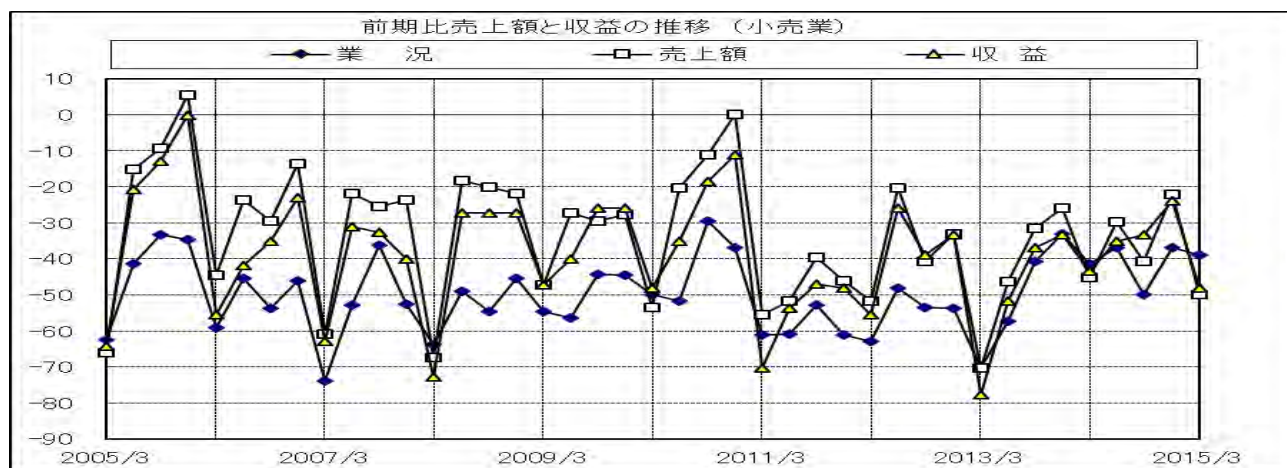


小 売 業 54 企業（回答率 100%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
業 況	-49.9	-37.0	-38.9	-37.1
売上額	-40.7	-22.2	-49.9	-22.3
収 益	-33.3	-24.0	-48.1	-27.7

今期の業況判断 D. I. は△38.9 と、前期比 1.9 ポイント下降した。地区別の D. I. は高い順に、静内、広尾、えりも、三石、浦河、様似となった。業況判断 D. I. は、前年（△41.5）比 2.6 ポイント上昇した。売上額判断 D. I. は△49.9 と、前期比 27.7 ポイント上昇した。収益判断 D. I. は△48.1 と、前期比 24.1 ポイント下降した。



□ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
販売価格	14.8	0.0	-13.0	5.6
仕入価格	40.7	25.9	22.2	27.7

販売価格判断 D. I. は△13.0、前期ゼロ水準から下降した。仕入価格判断 D. I. は 22.2 と、前期比 3.7 ポイント下降、価格上昇基調を弱めた。販売価格は前年（11.4）比で 24.4 ポイント下降。仕入価格も前年（41.5）比 19.3 ポイント下降した。業種別には衣料品・食料品で販売価格、仕入価格とともに下降。家電品は販売価格、仕入価格ともに上昇となった。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
残業時間	-9.3	-7.5	-3.7	0.0
人手状況	-11.2	-16.6	-11.1	-11.2

残業時間判断 D. I. は△3.7 と、前期比 3.8 ポイント上昇し、残業時間が減少したとする企業割合が減少した。

人手過不足判断 D. I. は△11.1 と、前期比 5.5 ポイント上昇し、人手不足感が弱まった。

□ 設備投資の動き

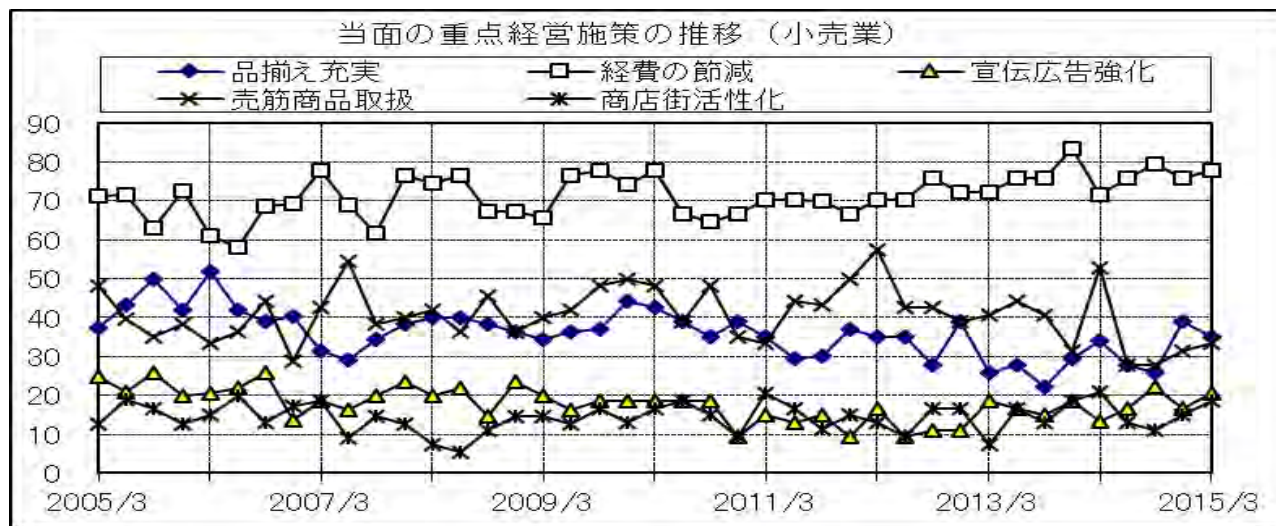
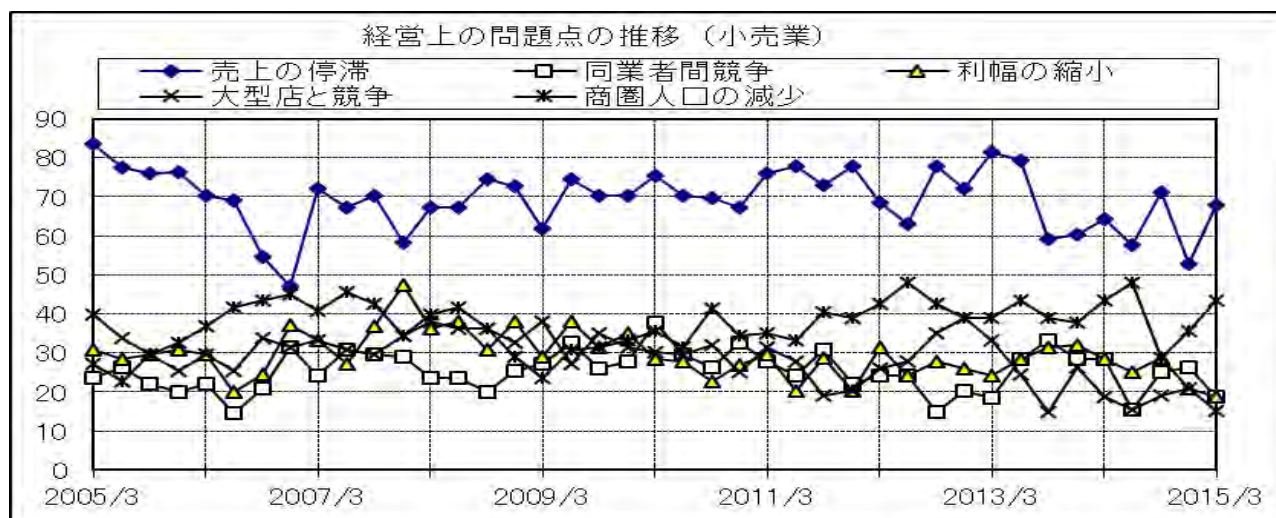
設備投資の充足感を示すD.I.は△11.1と、前期比1.9ポイント上昇した。

設備投資実施企業割合は11.1で、前期比1.8ポイント上昇、前期の5社に対し6社の実施となった。来期の設備投資の予定はゼロ件となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」をトップに挙げ67.9%、次に「商圈人口の減少」が43.4%、「値上げの要請」24.5%、「同業者との競合」・「利幅の縮小」が同率の18.9%で続いている。

重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ77.8%、次に「品揃えを改善する」35.2%、「売れ筋商品取扱い」が33.3%で続き、「宣伝広告を強化」は20.4%となった。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は△37.1と、今期比1.8ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D.I.は△22.3と、今期比27.6ポイントの上昇を見通している

予想収益判断D.I.は△27.7と、今期比20.4ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断D.I.は5.6と、今期比18.6ポイントの上昇を見通している。

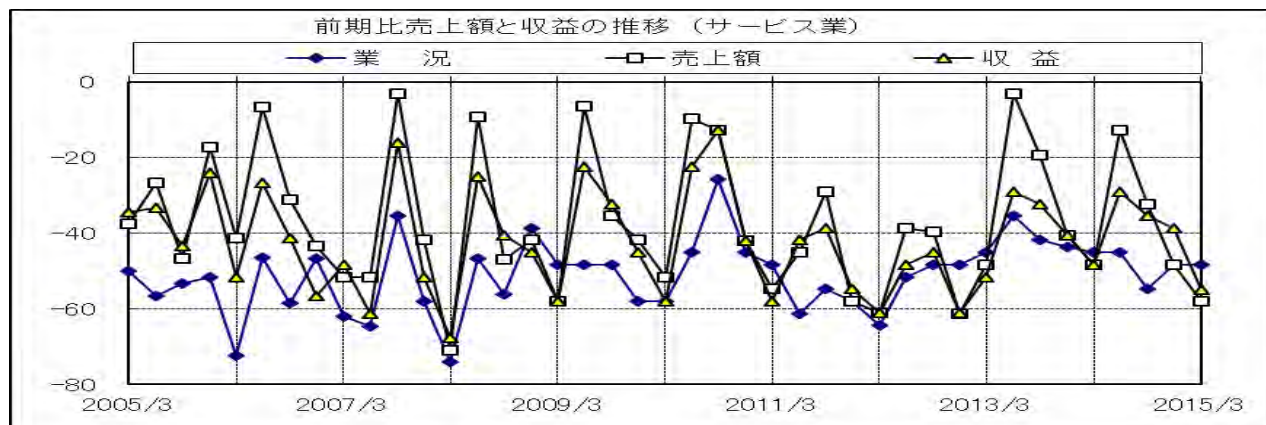
予想仕入価格判断D.I.は27.7と、今期比5.5ポイントの上昇を見通している。

サービス業 31 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 概 況

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
業 況	-54.8	-48.4	-48.4	-19.4
売上額	-32.3	-48.4	-58.1	-16.2
収 益	-35.5	-38.7	-54.9	-22.6

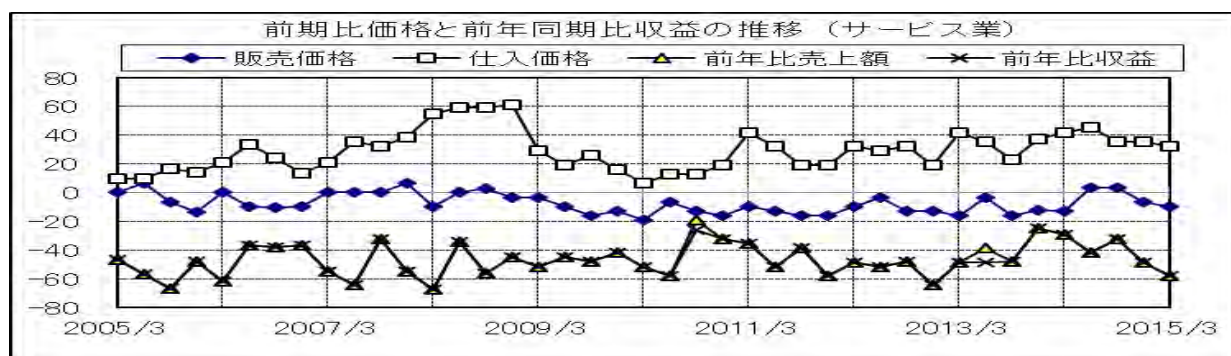
今期の業況判断 D. I. は△48.4 と、前期比横ばいの水準となった。地区別の D. I. は高い順に、静内、広尾、えりも・三石は同水準で並び、次に様似、浦河の順となった。前年（△45.2）比では 3.2 ポイントの下降となった。売上額判断 D. I. △58.1、収益判断 D. I. △54.9 は前期比 9.7、16.2 ポイントともに下降した。



□ 価格面の動きと前年同期に比した動き

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
料金価格	3.2	-6.5	-9.7	3.2
材料価格	35.5	35.5	32.3	25.8

料金価格判断 D. I. は△9.7 と、前期比 3.2 ポイント下降した。材料価格判断 D. I. は 32.3 と、前期比 3.2 ポイント下降した。業種別にみると洗濯理容業は、料金価格が横ばい、材料価格は下降。自動車整備業は、料金価格が上昇し、材料価格は下降した。旅館業では料金価格が下降、材料価格は横ばいとなった。料金価格は前年（△12.8）比で 3.1 ポイント上昇、材料価格は前年（41.9）比 9.6 ポイント下降した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
残業時間	-13.0	-19.4	-25.9	-6.4
人手状況	-12.9	-9.7	-6.4	-9.7

残業時間判断 D. I. は△25.9 と、前期比 6.5 ポイント下降、残業時間が減少したとする企業割合が増加した。

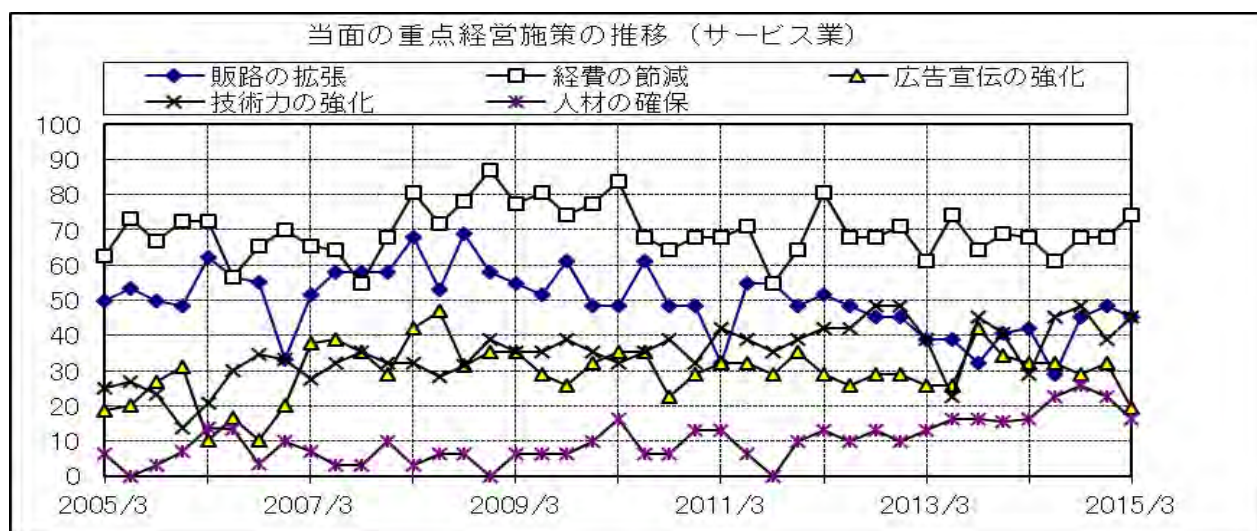
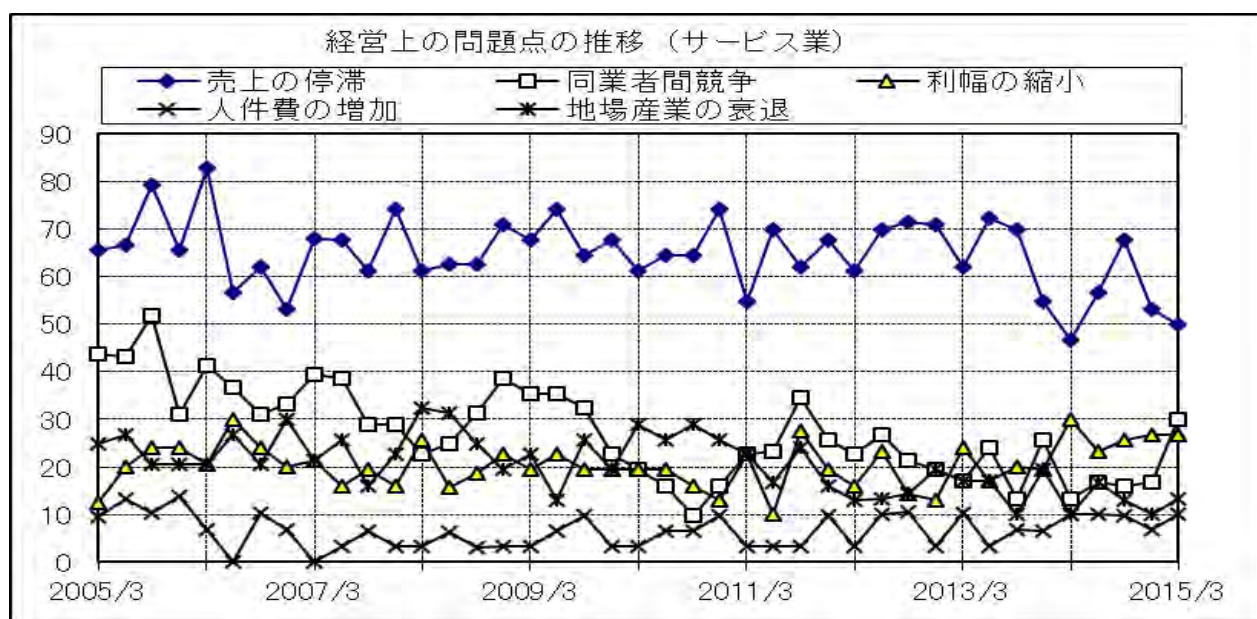
人手過不足判断 D. I. は△6.4 と、前期比 3.3 ポイント上昇し人手不足感は弱まった。

□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD.I.は△9.7と、前期比3.3ポイント下降し不足感は強まった。
設備投資実施企業割合は19.4で前期比3.3ポイント上昇。前期5社の実施に対し、6社の実施となった。来期の設備投資は、4社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」をトップに挙げ50.0%、次いで「商圈人口の減少」が43.3%で続き、「同業者との競合」30.0%、「材料価格の上昇」・「利幅の縮小」が同率の26.7%となっている。重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ74.2%、次いで「販路を広げる」・「技術力を強化する」が同率の45.2%となっている。宣伝広告の強化19.4%、「人材を確保する」16.1%と続いている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は△19.4と、今期比29.0ポイントの上昇を見通している。
予想売上額判断D.I.は△16.2と、今期比41.9ポイントの上昇を見通している。
予想収益判断D.I.は△22.6と、今期比32.3ポイントの上昇を見通している。
予想料金価格判断D.I.は3.2と、今期比12.9ポイントの上昇を見通している。
予想材料価格判断D.I.は25.8と、今期比6.5ポイントの下降を見通している。